



2027年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年7月3日

上場会社名 株式会社アークス 上場取引所 東・札
 コード番号 9948 URL <https://www.arcs-g.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長・CEO (氏名) 横山 清
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副会長・CFO (氏名) 古川 公一 TEL 011-530-1000
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年2月期第1四半期の連結業績（2026年3月1日～2026年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年2月期第1四半期	158,479	2.7	4,104	5.9	4,472	5.6	2,881	3.0
2026年2月期第1四半期	154,294	3.7	3,874	0.1	4,233	△0.7	2,798	5.1

(注) 包括利益 2027年2月期第1四半期 2,173百万円 (△33.1%) 2026年2月期第1四半期 3,249百万円 (14.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年2月期第1四半期	54.09	—
2026年2月期第1四半期	51.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年2月期第1四半期	302,876	195,918	64.7
2026年2月期	300,714	196,142	65.2

(参考) 自己資本 2027年2月期第1四半期 195,918百万円 2026年2月期 196,142百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	37.00	—	45.00	82.00
2027年2月期	—	—	—	—	—
2027年2月期（予想）	—	41.00	—	41.00	82.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年2月期の連結業績予想（2026年3月1日～2027年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	323,500	3.1	8,430	5.6	9,200	5.0	6,000	5.0	112.61
通期	648,000	3.4	18,000	2.1	19,600	2.3	12,400	△0.4	232.73

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

詳細は、添付資料P.10 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年2月期1Q	57,649,868株	2026年2月期	57,649,868株
② 期末自己株式数	2027年2月期1Q	4,369,516株	2026年2月期	4,369,516株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年2月期1Q	53,280,352株	2026年2月期1Q	53,980,423株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4 「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料につきましては、2026年7月3日(金)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10
3. 補足情報	10

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間（2026年3月1日から5月31日）における世界経済は、中東情勢の緊迫化などの地政学リスクの高まりにより、先行き不透明な状況が続きました。国内経済は、エネルギー価格や原材料価格の高騰、資材不足や円安に伴うコスト上昇圧力等を背景として、物価上昇に対する生活防衛意識がより一層高まり、消費マインドは厳しさを増しております。また、多様化する顧客ニーズへの対応のほか、業種・業態を越えた企業間競争が一段と激化しており、食品スーパーマーケット業界を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは「新インフレを凌ぎ 新参入とも共進 新納得価格で 明るく楽しく前むきに邁進」を2026年の年頭方針に掲げ、「3C体制（※1）」3年目としてグループ全体の収益力強化・生産性向上および業界再編への対応など、成長戦略（※2）達成に向けて企業価値の持続的な向上に努めております。

当社グループは従前より「納得価格」として、味・鮮度・価格のバランスを重視しながら、生産者・お取引先・お客様それぞれが納得できる商品の提供に努めてまいりました。現在は世界情勢の変動や新たな競合の台頭など、昨今の外部環境の変化に対応した「新納得価格」への磨き上げに注力しております。物価高騰が続く中、『NHKスペシャル「物価解剖 “値上げの正体” に迫る」』等、各種メディアによる報道を背景に当社グループの取り組みへの注目が高まってまいりました。

商品面では、日常需要と、いわゆる「ハレの日」需要を併せ持つメリハリのある消費行動を捉え、地域に密着した商品の開発等に努めております。一例として、岩手県二戸産の「果肉まで赤いリンゴ 紅の夢（くれないのゆめ）」をソースに使ったフレンチトーストや、北海道・東北の老舗銘菓とのコラボレーション商品などを開発し、幅広い層のお客様にお買い上げいただきました。また新日本スーパーマーケット同盟（※3 以下、「三社同盟」）のオリジナル商品である「塩こうじにんにくぼん酢」の原材料の一部を、青森県産のにんにく「福地ホワイト」にリニューアルいたしました。加えて、節約志向に対応したCGCブランドの新商品「断然お得 若鶏のから揚げ」や「ショッピングプライス 切り落としサラダチキン」等、価格訴求力と品質を兼ね備えた商品の提供を通じて、当社グループ理念「地域のライフラインとして価値ある商品・サービスを低価格で提供し、豊かな暮らしに貢献します。」の実現を図っております。

さらに、品揃え拡充として㈱カインズ（※4）オリジナル商品（キッチン用品、掃除用品等）の取り扱いを拡大しております。当第1四半期末において、カインズ商品の取扱店舗数は前期末から46店舗増加し、合計90店舗となりました。また、㈱ラルズ・㈱道北アークス・㈱ユニバースに続き、2026年6月より㈱東光ストアでの取り扱いを開始いたしました。

商品調達プロジェクトではカテゴリーマネジメント（※5）や商品棚割りの標準化、オペレーションの共有化など㈱ラルズを中心とした各社の好事例の横展開を推進しております。前期に売上・利益の改善効果が認められた㈱道東アークスに続いて、2026年5月より㈱福原にて加工食品・菓子での取り組みを開始いたしました。今後は既存取組先の対象カテゴリーを広げると同時に、グループ各社へ取り組みを拡大してまいります。店舗運営情報共有会では、㈱ラルズで使用する作業習得表をグループ全体へ展開のうえ店舗担当者の業務習熟度を高めたほか、人的資本の強化・従業員エンゲージメントの向上を目的に、㈱ユニバースが作成した評価者向け面談動画マニュアル等も共有し、サービスの質および生産性の向上に注力しております。

また中東情勢の緊迫化等を起因とした、第2四半期以降の石油・ナフサ関連資材の価格高騰・コスト増加に備えるべく、食品トレーの使用割合の見直しや規格の集約化を行っております。加えて、ニトリル手袋等の各種間接資材・消耗品の使用方針を改定する等、使用量節減への取り組みを進めるほか、CGCや三社同盟との連携による情報共有など、供給元の多様化により安定調達体制の構築を図っております。

デジタルトランスフォーメーション（DX）施策の基盤となる次期基幹システムは、2027年10月稼働を目指して構築作業を進めております。2026年4月までに業務運用上の機能の洗い出しやデータ移行の方針を確定させ、要件定義・詳細設計が完了いたしました。現在は第3フェーズであるプログラム開発に着手しており、2026年10月以降に既存の周辺システムとの結合テストを予定するなど、その進捗は当初の計画通りとなっております。加えてRARAカード会員についても、モバイル会員の入会キャンペーン等が奏功し、当第1四半期末におけるアークスアプリ会員数は約40万人、RARAカード総会員数は約350万人となりました。

当第1四半期末の当社グループ総店舗数は374店舗となりました。既存店の活性化として従来から推進するスーパーアークスへの業態変更を、㈱ベルジョイスの「(旧)ビッグハウス国分店」「(旧)ビッグハウス花巻店」「(旧)ビッグハウス本郷店」の3店舗で実施いたしました。これらの業態変更に加え、㈱ユニバースの「ユニバース東青森店」を改装し、合計4店舗の改装を行いました。なお、2027年2月期通期の店舗投資計画は、新規出店3店舗・店舗改装18店舗（上記の4店舗を含む）を予定しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は過去最高の1,584億79百万円（対前年同期比2.7%増）となりました。物価高により一点単価が対前年同期比で2.3%増加した中、節約志向に伴う一人当たり買上点数の減少を同0.5%にとどめた結果、既存店客単価は同1.8%の増加となりました。既存店客数は3か月連続で前年を上回り、当四半期では対前年同期比0.9%増加しました。その結果、既存店売上高は同2.7%増となりました。

売上高			客数		
102.7%			100.9%		
3月	4月	5月	3月	4月	5月
100.6%	102.3%	105.3%	100.7%	100.8%	101.3%

客単価			一点単価
101.8%			102.3%
3月	4月	5月	
99.9%	101.6%	104.0%	

一人当たり買上点数	
99.5%	

売上総利益は393億12百万円（対前年同期比1.8%増、対前年同期差6億99百万円増）となりました。販管費は352億7百万円（同1.4%増、同4億70百万円増）と、ベースアップに伴う人件費の増加に対して水道光熱費・減価償却費等を抑制したことで、売上総利益の増加額内にとどめました。その結果、営業利益は41億4百万円（同5.9%増、同2億29百万円増）、経常利益は44億72百万円（同5.6%増、同2億38百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は28億81百万円（同3.0%増、同83百万円増）と、各段階利益は増益となりました。

		当期	前年同期	前年同期差	前年同期比
売上高	百万円	158,479	154,294	+4,185	+2.7%
売上総利益	百万円	39,312	38,612	+699	+1.8%
売上総利益率	%	24.8%	25.0%	△0.2%	-
販売費及び一般管理費	百万円	35,207	34,737	+470	+1.4%
販管費率	%	22.2%	22.5%	△0.3%	-
営業利益	百万円	4,104	3,874	+229	+5.9%
営業利益率	%	2.6%	2.5%	+0.1%	-
経常利益	百万円	4,472	4,233	+238	+5.6%
経常利益率	%	2.8%	2.7%	+0.1%	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	百万円	2,881	2,798	+83	+3.0%
四半期純利益率	%	1.8%	1.8%	+0.0%	-

（※1）「3C」とは、3名の役職の頭文字であり、正式名称は下記の通りです。

- ・CEO…Chief Executive Officer：最高経営責任者
- ・CFO…Chief Financial Officer：最高財務責任者
- ・COO…Chief Operating Officer：最高執行責任者

（※2）当社グループは2025年11月5日に「アークス統合報告書2025」を発行し、「成長投資計画及びキャッシュアロケーションを柱とした成長戦略」を策定、公表いたしました。中長期目標として、当社の設立30周年となる2033年2月期までに「連結売上高1兆円以上、ROE8.0%以上」を掲げております。

（※3）㈱パローホールディングス（本社：岐阜県）、㈱リテールパートナーズ（本社：山口県）、当社の3社が2018年12月に資本業務提携契約を締結した、地域密着型の独立系食品流通企業の連合体です。

（※4）当社子会社の㈱エルディは、㈱カインズとのフランチャイズ契約により、2008年6月からホームセンターのカインズを運営しており、当第1四半期末現在、カインズFC大曲店（北海道北広島市）、カインズFC花川店（北海道石狩市）、カインズFC星置店（札幌市）の3店舗を展開しております。

(※5) 小売業者が自社の戦略や目標に基づいて商品分野(カテゴリー)を設定し、商品の管理をすること。消費者にとって適切なタイミングで、適切な場所(売場・棚)に、適切な商品を適切な価格で提供することで、需要の活性化を図ることを目的とします。

(2) 当四半期の財政状態の概況

① 財政状態

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比較して、21億62百万円増加し、3,028億76百万円となりました。この主な要因は、売掛金が27億69百万円、現金及び預金が14億38百万円およびソフトウェア仮勘定が12億32百万円増加した一方で、未収入金が18億62百万円および投資有価証券が9億11百万円減少したことなどによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較して、23億86百万円増加し、1,069億58百万円となりました。この主な要因は、買掛金が49億92百万円、未払費用が11億72百万円および賞与引当金が8億71百万円増加した一方で、未払法人税等が22億37百万円、長期借入金が16億26百万円および短期借入金が7億2百万円減少したことなどによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末と比較して、2億23百万円減少し、1,959億18百万円となりました。この主な要因は、その他有価証券評価差額金が6億30百万円減少した一方で、利益剰余金が4億84百万円増加したことなどによるものです。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末より0.5ポイント減少し64.7%となりました。

② キャッシュ・フロー

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末と比較して、3億61百万円減少し、907億68百万円(対前年同期末比49億1百万円の増加)となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、95億22百万円(対前年同期比21.7%減)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益44億54百万円、減価償却費24億53百万円、賞与引当金の増加額8億71百万円、売上債権の増加額27億69百万円、仕入債務の増加額49億92百万円、および法人税等の支払額35億46百万円などによるものです。また、得られた資金が減少した要因は、売上債権が増加したこと、未払消費税等が減少したことおよび法人税等の支払額が増加したことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、49億31百万円(対前年同期比183.2%増)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出18億円、新規出店や店舗改装等に伴う有形固定資産の取得による支出15億70百万円、および無形固定資産の取得による支出15億56百万円などによるものです。また、使用した資金が増加した要因は、定期預金の預入による支出があったことおよび無形固定資産の取得による支出が増加したことなどによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、49億52百万円(対前年同期比7.9%増)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出19億28百万円、および配当金の支払額23億55百万円などによるものです。また、使用した資金が増加した要因は、長期借入金の返済による支出が増加したことおよび配当金の支払額が増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年4月13日に公表いたしました当社連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	91,183	92,622
売掛金	7,593	10,362
棚卸資産	21,105	21,173
未収入金	5,340	3,478
その他	4,320	3,937
貸倒引当金	△107	△110
流動資産合計	129,436	131,464
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	43,936	43,659
工具、器具及び備品（純額）	7,682	7,818
土地	77,502	77,502
リース資産（純額）	4,093	3,945
その他（純額）	313	432
有形固定資産合計	133,528	133,358
無形固定資産		
ソフトウェア	3,026	2,651
ソフトウェア仮勘定	726	1,958
その他	324	324
無形固定資産合計	4,077	4,934
投資その他の資産		
投資有価証券	13,523	12,612
敷金及び保証金	9,878	10,042
退職給付に係る資産	8,593	8,757
繰延税金資産	1,216	1,237
その他	487	476
貸倒引当金	△28	△6
投資その他の資産合計	33,671	33,119
固定資産合計	171,277	171,412
資産合計	300,714	302,876

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	32,853	37,846
短期借入金	10,663	9,961
リース債務	1,046	1,038
未払金	5,877	5,676
未払費用	6,813	7,986
未払法人税等	4,022	1,785
未払消費税等	2,144	1,973
賞与引当金	3,420	4,292
ポイント引当金	644	683
契約負債	4,070	4,314
その他	2,096	2,633
流動負債合計	73,654	78,191
固定負債		
長期借入金	13,486	11,860
リース債務	4,137	3,954
退職給付に係る負債	524	534
繰延税金負債	1,966	1,638
役員退職慰労引当金	567	544
長期預り保証金	4,039	4,028
資産除去債務	6,008	6,030
その他	186	173
固定負債合計	30,917	28,766
負債合計	104,571	106,958
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,205	21,205
資本剰余金	24,996	24,996
利益剰余金	153,396	153,880
自己株式	△11,300	△11,300
株主資本合計	188,297	188,781
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,335	2,705
退職給付に係る調整累計額	4,509	4,431
その他の包括利益累計額合計	7,845	7,137
純資産合計	196,142	195,918
負債純資産合計	300,714	302,876

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
売上高	154,294	158,479
売上原価	115,682	119,167
売上総利益	38,612	39,312
販売費及び一般管理費		
宣伝装飾費	1,181	1,166
店舗賃借料	1,751	1,762
ポイント引当金繰入額	374	384
役員報酬	152	169
給料及び手当	14,519	15,209
賞与引当金繰入額	1,930	2,003
役員退職慰労引当金繰入額	14	13
退職給付費用	227	57
水道光熱費	3,044	2,856
租税公課	784	789
減価償却費	2,512	2,446
その他	8,241	8,347
販売費及び一般管理費合計	34,737	35,207
営業利益	3,874	4,104
営業外収益		
受取利息	10	11
受取配当金	78	69
持分法による投資利益	17	19
業務受託料	177	176
その他	141	184
営業外収益合計	425	461
営業外費用		
支払利息	47	72
その他	19	20
営業外費用合計	66	92
経常利益	4,233	4,472
特別利益		
固定資産売却益	0	0
受取補償金	29	—
特別利益合計	30	0
特別損失		
固定資産除売却損	7	1
店舗閉鎖損失	4	—
災害による損失	—	16
特別損失合計	11	18
税金等調整前四半期純利益	4,252	4,454
法人税等	1,453	1,572
四半期純利益	2,798	2,881
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,798	2,881

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
四半期純利益	2,798	2,881
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	442	△629
退職給付に係る調整額	8	△77
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	451	△708
四半期包括利益	3,249	2,173
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,249	2,173
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,252	4,454
減価償却費	2,522	2,453
受取利息及び受取配当金	△89	△80
支払利息	47	72
賞与引当金の増減額 (△は減少)	950	871
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	24	38
契約負債の増減額 (△は減少)	149	243
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,634	△2,769
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△769	△68
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,300	4,992
未払消費税等の増減額 (△は減少)	683	△170
その他	3,965	3,003
小計	14,402	13,042
利息及び配当金の受取額	100	94
利息の支払額	△45	△68
法人税等の支払額	△2,294	△3,546
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,163	9,522
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,061	△1,570
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	△175	△1,556
差入保証金の差入による支出	△45	△28
差入保証金の回収による収入	102	19
預り保証金の返還による支出	△18	△21
預り保証金の受入による収入	9	25
定期預金の預入による支出	—	△1,800
その他	447	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,741	△4,931
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△700	△400
長期借入金の返済による支出	△1,468	△1,928
配当金の支払額	△2,131	△2,355
その他	△292	△268
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,591	△4,952
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,830	△361
現金及び現金同等物の期首残高	80,035	91,130
現金及び現金同等物の四半期末残高	85,866	90,768

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2025年3月1日 至 2025年5月31日）

当社グループは、小売関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2026年3月1日 至 2026年5月31日）

当社グループは、小売関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. 補足情報

販売実績

事業の名称		前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)		前年同期比 (%)
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
小売関連 事業	青 果	20,783	13.5	20,957	13.2	100.8
	水 産	12,876	8.3	13,446	8.5	104.4
	食 肉	16,776	10.9	17,267	10.9	102.9
	デ リ カ	13,108	8.5	13,539	8.5	103.3
	日 配	27,999	18.1	28,448	18.0	101.6
	グ ロー サ リ ー	36,755	23.8	38,090	24.0	103.6
	そ の 他	6,880	4.5	7,325	4.6	106.5
	食 品 計	135,180	87.6	139,076	87.8	102.9
	酒 類 等	10,515	6.8	10,348	6.5	98.4
	衣 料	458	0.3	505	0.3	110.2
	住 居 関 連	5,345	3.5	5,758	3.6	107.7
	テ ナ ン ト	762	0.5	745	0.5	97.8
	不動産賃貸収入等	1,771	1.1	1,732	1.1	97.8
	そ の 他	258	0.2	312	0.2	120.8
合 計	154,294	100.0	158,479	100.0	102.7	